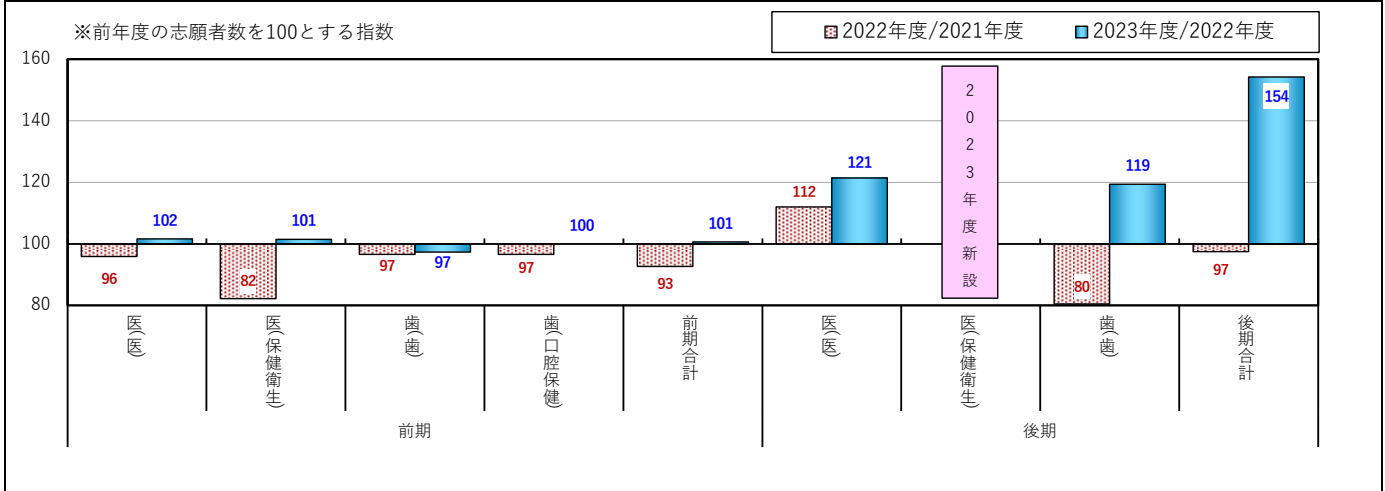


東京医科歯科大：前期は各募集単位の変化は小さいが、後期は共テ易化で大幅増加 前期：+4人 後期：+147人



<b>主な入試変更点</b>	選抜方法：医(保健衛生／検査技術学)…後期日程を新規実施 募集人員：医(医)<前>…79人→69人 医(保健衛生／検査技術学)…<前>27人→20人、<後>0人→7人 共通テスト：医(保健衛生／検査技術学)<前>…国<80>+歴公<40>+数2<80>+理2<80>+外<80>=総点<360> →国<160>+歴公<80>+数2<160>+理2<160>+外<160>=総点<720>
----------------	---

**COMMENT** ※( )内の数値は志願者数の前年度対比指数

医(医)は、前期は2年連続減少の反動は小さく、5人(102)の微増。後期は36人(121)の大幅増加で2年連続増加。医(医)を除く大学全体では、前期は前年度減少の反動はなく、1人(100)の微減で前年度並。後期は111人(208)の倍増以上で4年ぶりの増加。新規実施の医(保健衛生／検査技術学)を除く、歯(歯)(119)のみでも大幅増加。

- <前期日程>
- 医(医)(102)は、2年連続減少の反動は小さく微増。募集人員が13%減少したことで、志願倍率は3.8倍→4.5倍にアップ。
  - 医(保健衛生)(101)は、2年連続減少の反動はなく、微増。専攻別では、(保健衛生／看護学)(114)は4年ぶりの増加。(保健衛生／検査技術学)(90)は減少だが、募集人員の26%減少で志願倍率は2.6倍→3.2倍にアップ。
  - 歯(歯)(97)は、2021年度の大幅減少から3年連続減少だが、志願者数は110人台を維持。
  - 歯(口腔保健)(100)は、前年度と志願者数は同数。専攻別では、(口腔保健／口腔保健工学)(112)は前年度大幅減少の反動で増加。一方で、(口腔保健／口腔保健衛生学)(95)は前年度増加の反動でやや減少。

- <後期日程>
- 医(医)(121)は、共通テスト易化による高得点層の増加の影響から、前年度増加の反動はなく大幅増加。志願者数は4年ぶりに200人を上回った。志願倍率も16.8倍→20.4倍にアップ。
  - 医(保健衛生)は、(保健衛生／検査技術学)のみの募集を新規実施。募集人員7人に対して志願者数91人、志願倍率13.0倍。
  - 歯(歯)(119)は、2年連続大幅減少の反動に加えて、共通テスト平均点アップの影響も加わり、大幅増加で4年ぶりの増加。志願倍率は6.9倍→8.2倍にアップ。